



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 株式会社 有沢製作所  
 コード番号 5208 URL <http://www.arisawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画部担当  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 有沢 悠太  
 (氏名) 増田 竹史

TEL 025-524-7101

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	34,696	14.4	2,648	0.5	3,644	14.1	2,411	△9.2
30年3月期第3四半期	30,325	17.7	2,636	129.0	3,193	58.6	2,655	79.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,530百万円 (△67.5%) 30年3月期第3四半期 4,708百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	66.73	66.29
30年3月期第3四半期	74.18	73.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	72,037	52,756	69.3	1,379.91
30年3月期	72,322	52,493	68.6	1,378.16

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 49,928百万円 30年3月期 49,637百万円

(注) 平成31年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成30年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成31年3月期の配当は未定です。

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,800	9.5	3,200	△11.8	4,300	6.3	2,770	△19.8	76.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	36,189,524 株	30年3月期	36,024,124 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	7,304 株	30年3月期	7,084 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	36,134,606 株	30年3月期3Q	35,802,682 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績当は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善したこと等により景気回復基調が継続しました。一方で、米国の通商政策による貿易摩擦の動向や金融政策に対する懸念、中国経済の減速や英国のEU離脱問題など、先行きの不透明感が一層強まっています。

このような状況のもと当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)の当第3四半期累計期間の業績は、売上高は346億96百万円(前年同期比14.4%増)となりました。また、損益は営業利益26億48百万円(前年同期比0.5%増)、経常利益36億44百万円(前年同期比14.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億11百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(電子材料)

フレキシブルプリント配線板材料の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は226億32百万円と前年同期に比べ27億35百万円(前年同期比13.8%)増加しました。

(産業用構造材料)

水処理用圧力容器の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は62億91百万円と前年同期に比べ9億64百万円(前年同期比18.1%)増加しました。

(電気絶縁材料)

インフラ関連向けの販売が微減となったことから、売上高は24億6百万円と前年同期に比べ19百万円(前年同期比0.8%)減少しました。

(ディスプレイ材料)

3D関連材料の販売が堅調に推移したことから、売上高は27億86百万円と前年同期に比べ6億75百万円(前年同期比32.0%)増加しました。

(その他)

売上高は5億79百万円と前年同期に比べ14百万円(前年同期比2.5%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億84百万円減少し、720億37百万円となりました。これは主に、現金及び預金が22億30百万円減少したことによ

るものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて5億47百万円減少し、192億81百万円となりました。これは主に、未払法人税等が5億97百万円減少したことによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて2億62百万円増加し、527億56百万円となりました。これは主に、利益剰余金が11億86百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月9日に公表しました平成31年3月期の通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	47,700	4,250	5,450	3,600	99.95
今回修正予想 (B)	44,800	3,200	4,300	2,770	76.56
増減額 (B - A)	△2,900	△1,050	△1,150	△830	
増減率 (%)	△6.1	△24.7	△21.1	△23.1	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	40,909	3,627	4,044	3,453	96.35

平成31年3月期の通期の連結業績につきましては、第4四半期における電子材料の需要が想定以上に減少する見通しのため、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は共に前回予想よりも下回ると見込んでおります。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,123,877	6,893,523
受取手形及び売掛金	15,947,189	16,637,582
有価証券	1,180,101	1,174,690
商品及び製品	3,915,375	3,357,063
仕掛品	1,898,096	1,870,712
原材料及び貯蔵品	2,951,263	3,712,662
その他	1,328,865	1,336,484
貸倒引当金	△562,185	△650,273
流動資産合計	35,782,583	34,332,448
固定資産		
有形固定資産	11,635,655	12,226,022
無形固定資産		
のれん	277,791	233,929
その他	172,949	183,792
無形固定資産合計	450,740	417,721
投資その他の資産		
投資有価証券	23,365,824	23,152,535
その他	1,264,902	2,090,653
貸倒引当金	△176,835	△181,493
投資その他の資産合計	24,453,891	25,061,695
固定資産合計	36,540,287	37,705,439
資産合計	72,322,870	72,037,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,794,393	6,580,570
短期借入金	4,242,472	4,490,719
1年内返済予定の長期借入金	864,130	901,652
1年内償還予定の社債	36,800	36,800
未払法人税等	930,529	333,347
賞与引当金	598,261	273,356
役員賞与引当金	5,956	4,082
製品保証引当金	125	42
その他	2,509,831	3,221,474
流動負債合計	15,982,499	15,842,046
固定負債		
社債	164,800	128,000
長期借入金	1,642,485	1,239,958
退職給付に係る負債	603,556	613,755
資産除去債務	92,837	93,103
その他	1,342,953	1,364,549
固定負債合計	3,846,632	3,439,366
負債合計	19,829,132	19,281,412
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,458,242	7,529,099
資本剰余金	6,570,209	6,641,022
利益剰余金	33,493,564	34,680,132
自己株式	△4,467	△4,703
株主資本合計	47,517,548	48,845,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,214,473	300,543
繰延ヘッジ損益	—	1,707
為替換算調整勘定	1,081,810	932,205
退職給付に係る調整累計額	△176,694	△151,631
その他の包括利益累計額合計	2,119,588	1,082,824
新株予約権	127,640	134,479
非支配株主持分	2,728,960	2,693,620
純資産合計	52,493,738	52,756,475
負債純資産合計	72,322,870	72,037,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	30,325,502	34,696,479
売上原価	24,382,712	28,307,028
売上総利益	5,942,789	6,389,450
販売費及び一般管理費	3,306,235	3,740,685
営業利益	2,636,553	2,648,765
営業外収益		
受取利息	237,864	247,878
受取配当金	88,389	97,087
持分法による投資利益	382,051	538,963
その他	340,889	399,547
営業外収益合計	1,049,193	1,283,475
営業外費用		
支払利息	50,522	62,692
貸倒引当金繰入額	329,049	85,712
その他	112,652	139,597
営業外費用合計	492,224	288,001
経常利益	3,193,522	3,644,240
特別利益		
固定資産売却益	2,960	34,125
投資有価証券売却益	507,155	65,010
その他	10,904	13,546
特別利益合計	521,020	112,681
特別損失		
固定資産除却損	7,898	48,759
投資有価証券評価損	63,595	—
損害賠償金	—	91,683
その他	69	—
特別損失合計	71,562	140,443
税金等調整前四半期純利益	3,642,980	3,616,478
法人税等	759,050	982,186
四半期純利益	2,883,929	2,634,291
非支配株主に帰属する四半期純利益	228,230	223,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,655,699	2,411,146



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	2,883,929	2,634,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,574,004	△913,898
繰延ヘッジ損益	△5,153	1,707
為替換算調整勘定	288,024	△188,103
退職給付に係る調整額	7,238	20,289
持分法適用会社に対する持分相当額	△39,705	△24,089
その他の包括利益合計	1,824,407	△1,104,094
四半期包括利益	4,708,337	1,530,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,346,209	1,374,383
非支配株主に係る四半期包括利益	362,127	155,813

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,896,877	5,326,627	2,425,983	2,110,567	29,760,055	565,446	30,325,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	625,277	625,277
計	19,896,877	5,326,627	2,425,983	2,110,567	29,760,055	1,190,723	30,950,779
セグメント利益又は損失(△)	2,332,550	804,644	455,288	△111,752	3,480,730	181,340	3,662,070

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,480,730
「その他」の区分の利益	181,340
セグメント間取引消去	△68,191
全社費用(注)	△931,336
棚卸資産の調整額	△25,988
四半期連結損益計算書の営業利益	2,636,553

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電子材料」において、株式会社サトーセンの株式取得に伴い、第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては292,412千円であります。なお、のれんは「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,632,723	6,291,123	2,406,831	2,786,181	34,116,860	579,619	34,696,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	594,710	594,710
計	22,632,723	6,291,123	2,406,831	2,786,181	34,116,860	1,174,330	35,291,190
セグメント利益	2,240,316	1,040,188	344,258	93,068	3,717,831	151,577	3,869,408

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,717,831
「その他」の区分の利益	151,577
セグメント間取引消去	△81,160
のれんの償却額	△43,861
全社費用(注)	△1,071,575
棚卸資産の調整額	△24,045
四半期連結損益計算書の営業利益	2,648,765

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定及び比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

前第3四半期連結会計期間に行われた株式会社サトーセンとの企業結合について前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しは反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんは金額355,527千円は、会計処理の確定により63,115千円減少し、292,412千円となっております。のれんの減少は、無形固定資産のその他が95,039千円、固定負債のその他が31,923千円それぞれ増加したことによるものであります。